

みんなに伝えたい わたしたちの想い

28年度 わたしの主張「村上」



中学生が日頃考えている意見や主張、普段の生活の中で感じる家族や仲間との絆などを発表する「関川中学校わたしの主張大会」が7月21日、関川中学校で開催されました。各学年から選ばれた代表6人が、6分以内という規定のなか、言葉一つひとつに心をこめ力強く発表しました。審査の結果、村上・岩船地区大会（新潟県村上健康福祉事務所主催）出場者に小田桜生さん（3年・下川口）が選出されました。小田さんは、8月20日に行われた同大会で発表し、奨励賞を受賞しました。*発表の概要は次のとおり。発表順。



荒木 桜輔 さん
（1年・下関）

限界の先の明るい未来

「人は成長するものだ。かつての限界も今となつてはそこも山の中腹に過ぎなかったと思うものだ」。この言葉はアニメの登場人物の言葉だ。僕もそう思った経験がいくつもある。

そろばんコンクールというのがあり、去年あんなに感じていた限界を超えることができた。また、苦手な器械体操の技もできるようになった。中学校でもシャトルランの回数が増え、幅跳びも遠くまで跳べるようになった。

このような経験から人は成長することがわかった。だから、できないこと、苦手なことがあっても、いつか限界を超え、できるようになると信じて、積極的に取り組んでいきたい。きっとその先に明るい未来が待っているはずだ。



高橋 まき さん
（1年・下関）

テストで 経験値を上げる

皆さんはテストに嫌な印象をもつのはなぜか考えたことがありますか。自分の考えはこうです。自信がないから。「自信をもって」と言われても無理です。だったら、考え方の方向を変えてみてはどうでしょうか。これはできる、解けるというポジティブ思考です。そこで自信が湧き、進める先はだいぶ違います。また、テストの点数を取るのも気持ちです。やる気を起こすことです。一人ひとり集中できる時間や方法は違うので自分にあつた勉強法を実践してみればと思うのです。最後に、もう一つ、一番覚えるのは、間違つたところです。結果をつきつけられたら、自分の経験値が上がったのだととらえることです。少しはテストに好印象を持てるかもしれませ

2016 関川中学校

「わたしの主張」大会

読書に親しむために



ひより
小路日和さん
(2年・深沢)

ある日、祖母から、「最近本を読んでいるところを見ない。本を読むといいことがいっぱいあるんだから、本をたくさん読みなさい」と言われました。私は、このことについて考えてみました。

まず、本を読む時間がインターネットを利用する時間に変わりつつあるということです。次に、本を読むといいことがあるということについて、一つ目は想像力が豊かになり、考える力が身につくということです、二つ目は新しい語句が覚えられるということです。インターネットと違い、本は自分が探しているものとは全く違うものとの出会いがあり、新しい世界や将来の夢へとつながったりします。そこで、これからもっと積極的に本を読みたいと思います。

温暖化が進む世界



あやか
須貝彩咲さん
(2年・下関)

皆さんは、地球温暖化について考えていますか。私たちの多くは温暖化が進んでいることなど気にせずただただ1日を過ごしているのだと思います。インターネットで、推測される2100年の様子を見て、今の暮らしがどれだけ恵まれていることなのかに気づきました。私たちは自分たちが住んでいる地球を自ら壊しているのです。地球温暖化は、世界で改善すべき最も大きな課題です。では、未来も今と同じような暮らしを続けていくには私たちは何をすべきでしょうか。私は一人でも多くの人が地球温暖化について考え、そして、それを周りの人に伝えて、地球温暖化を進めてはいけなさと考える人を増やすことが大切だと思います。

「最近の中学生は積極性が足りない」という部活の顧問の先生から掛けられた言葉や、「もっと積極的になりなよ」という母からの言葉。人見知りの私にとっては、「積極」という語句は苦手でした。中学2年生の冬、私は部活動で県選抜の練習会に参加し、2人1組での練習で、「一緒にやる?」と声を掛けられました。胸の中に「嬉しい」という感情が広がりました。その時、私は自分から動くことの大切さによりやく気付きました。今まで、失敗や他人からどう見られているかばかり気にしていた自分が、急にちっぽけに思えました。誰に何を言われなくても、自分一人でも動く、その小さな積極性が、きつと自分を変えるはず

積極的になる ことの大切さ



さくら
小田桜生さん
(3年・下川口)

私は、2才の頃からスイミングクラブに通っています。コーチから県内の強豪たちが集まる大会に出場できると言われ、不安でいっぱいでした。たくさんの人の期待を背負って出た大会では、目標であったタイムを切る事ができませんでした。嬉しさと同時に感謝の気持ちがかみ上げてきました。そして、感謝の気持ちが自分をここまで成長させてくれたのだと思いました。また、助け合い、応援し合える関係を築ききつかけをつくってくれた友人にも感謝しています。私はこの夏、引退をかけた大会を迎えようとしています。最後まで決してあきらめず、自分の力を出し切ってきたと思います。感謝の気持ちを自分のあきらめない姿で伝えたいです。

私は、2才の頃からスイミングクラブに通っています。コーチから県内の強豪たちが集まる大会に出場できると言われ、不安でいっぱいでした。たくさんの人の期待を背負って出た大会では、目標であったタイムを切る事ができませんでした。嬉しさと同時に感謝の気持ちがかみ上げてきました。そして、感謝の気持ちが自分をここまで成長させてくれたのだと思いました。また、助け合い、応援し合える関係を築ききつかけをつくってくれた友人にも感謝しています。私はこの夏、引退をかけた大会を迎えようとしています。最後まで決してあきらめず、自分の力を出し切ってきたと思います。感謝の気持ちを自分のあきらめない姿で伝えたいです。

私を変えてくれた水泳



たいよう
須貝太陽さん
(3年・高田)

私は、2才の頃からスイミングクラブに通っています。コーチから県内の強豪たちが集まる大会に出場できると言われ、不安でいっぱいでした。たくさんの人の期待を背負って出た大会では、目標であったタイムを切る事ができませんでした。嬉しさと同時に感謝の気持ちがかみ上げてきました。そして、感謝の気持ちが自分をここまで成長させてくれたのだと思いました。また、助け合い、応援し合える関係を築ききつかけをつくってくれた友人にも感謝しています。私はこの夏、引退をかけた大会を迎えようとしています。最後まで決してあきらめず、自分の力を出し切ってきたと思います。感謝の気持ちを自分のあきらめない姿で伝えたいです。

私は、2才の頃からスイミングクラブに通っています。コーチから県内の強豪たちが集まる大会に出場できると言われ、不安でいっぱいでした。たくさんの人の期待を背負って出た大会では、目標であったタイムを切る事ができませんでした。嬉しさと同時に感謝の気持ちがかみ上げてきました。そして、感謝の気持ちが自分をここまで成長させてくれたのだと思いました。また、助け合い、応援し合える関係を築ききつかけをつくってくれた友人にも感謝しています。私はこの夏、引退をかけた大会を迎えようとしています。最後まで決してあきらめず、自分の力を出し切ってきたと思います。感謝の気持ちを自分のあきらめない姿で伝えたいです。